

# 清松園デイサービスセンター運営推進会議録

事業所名	清松園デイサービスセンター	サービスの種類	地域密着型通所介護施設
事業所住所	北九州市門司区大字畑1960番地		
開催日時	平成28年9月29日(木曜) 13:30~14:30		
開催場所	清松園デイサービスセンター内 娛樂室		
出席者 氏名 構成区分等	清松園デイサービスセンター ※ ご利用者様とご家族様の氏名は個人情報保護のため記載致しません。 入所者代表 (1)名 家族代表 (1)名 所長 天野弘隆 生活相談員 山本朱美 地域住民代表 尾ノ上町内会長 古田 伸吉 様 地域密着型通所介護に知見を有する者 日赤豊寿園通所介護係長 荒木美奈 様		

## 平成28年度 第1回 清松園デイサービスセンター 運営推進会議録

1、所長挨拶 2、委員紹介(利用者・家族については個人情報の観点から以下イニシャルとする)

### 3、運営推進会議主旨説明

地域密着型サービスについて。清松園では地域密着型通所介護に該当しています。利用者様は以前と比べサービス提供等の大きな変化はありませんが、地域密着型となることで、原則北九州市の住民(介護保険の被保険者)だけが、サービスを利用できることを説明。

平成28年度から利用定員が18名以下の通所介護施設が「地域密着型通所介護」へ移行されたことにより、運営会議の設置及び開催について。おおむね6ヶ月に1回以上、近況を報告し、評価をうけるとともに、必要な要望、助言等を聴くことになっている旨を説明。これは、義務付けられているため、今回初めて9月に開催できたので、次回は3月に予定をしている。

構成員について。清松園利用者及びその家族(今回は利用者Kさん、家族代表Kさん) 地域住民の代表 尾ノ上町内会長 古田様へ依頼。市町村または地域包括支援センターの職員。今回は配置がまだ決まっていないので不在のまま会議を行って良いと通知があるまた、介護保険課等へも確認している旨を報告。地域密着型通所介護について知見を有する者 日赤豊寿園の通所介護係長 荒木様へ依頼。

会議の開催場所について。会議中のプライバシーは考慮していく。センター内もしくは特養の一部を借りて行うことになるが、今回第1回目はセンター内の様子も見ていただきたくデイサービス内で開催。

会議において話し合うこと等について。基本的には、前回の会議における要望や助言に対する対応や改善などを議題にしていくが、今回第1回目であるので、この後運営状況や活動状況の報告をすることとする。

記録の作成・公表について。「議事録」を作成し、デイサービス内の見やすいところへの掲示や広報紙などにより、関係者等へは配布いたします。また、個人情報についても十分に注意を払います。

その他。本会を義務として捉えると、負担にしか感じなくなるので、交流を深めることにより、地域における信頼や知名度の向上につなげ、様々な立場からセンターの課題やサービス改善・向上のヒントを頂ければと思っています。年2回のこの機会を最大限活用し、いろいろと意見を出して欲しいと説明。

一旦清松園の説明を全て聴いてから質問や改善案等を行うこととなる。

平成28年度 清松園予算執行状況を説明。

8月現在の介護保険事業収入、執行額や今後半年間の予測を説明。また、人件費率や事務費比率についても触れ

る。(居宅介護保険料の当初予算収入は¥12,737,000円。8月までの執行済額と月の平均額を公表し説明。支出の部では、清松園の件費率約59%であることを説明。昨年度全国平均が65%なので、清松園では低い数字であるが、サービスの質を落とすことなく頑張っていくことを約束)

予算の支出については、ご利用者さまに負担をかけずに、安心・安全をモットーに無駄をなくすよう努めていく。

利用状況報告。前年度の1日の平均と今年度の平均とを報告。4月～8月の1日の利用平均は6.82/日で昨年同月の平均が5.27/日と比べると一日の平均が1以上増えているが、利用登録者数はあまり変わらず、一人の利用回数が増えたことによるものであると説明。週4回来ている方が入院や長期欠席した場合には一気にアベレージが下がることも説明。

合わせて、職員配置状況について説明。運営規程・重要事項説明の配置基準は十分に満たしている。

平成28年度 上半期の行事等を説明。

4月ドライブで花見に和布刈へ行ったこと。5月にショッピング(百円ショップ)へ行ったこと。外出は利用者とマンツーマンでの対応を求められるため(転倒予防や迷子など)なかなか回数を増やせない状況も説明。母の日や父の日にはフラワーアレンジメントを作りその作品をプレゼントとして持ち帰ってもらった。8月には4月～制作にかかった、シルバー文化祭の提出作品を見学に行く。2ヶ月に1回非常災害訓練や避難訓練を行っていることを説明。清松園デイサービスセンターへ来ていただいているボランティアを説明。

利用者家族より: 家に帰っても何らデイサービスでの様子を話してくれない。ただ、毎回行くのを楽しみにして、帰宅時は笑顔がある。利用回数を増やしてもらえると家族としては安心ですが、本人が町内の事をしており、忙しいと言っ

て回数を増やさない。一人で外出をするのが不安。との発言がある。

回答: センター長。私たちとしては、毎回喜んできていただいているのでありがたく思っています。

ご本人様が介護度が出るほど不自由を感じていないので、今は好きな生活を送る方が本人の為でもあると

思う。

利用者家族より: 先ほど会議で説明があったショッピングも大変喜んでいる。

所長: マンツーマンでの援助が必要なため、外出の回数を増やすことが難しくなっている。

買い物ができない方もいるので、回数や場所についても再検討していく。

知見者より: 豊寿園では、コンビニに来てもらいショッピングを楽しんでもらうことがある。

生活相談員: ニーズがたくさんあれば採用したい。(実施するのであればコンビニへも協力依頼をする)

地域代表: 実際は今のよう、利用している家族の声をもっと聞きたい。

清松園: 今回、ご家族様へは複数名声かけを行い、参加予定であったが、都合がつかないなど2組のキャンセル等

があった。次回は、早めに開催時間等を決め少しでも多くの家族の方の参加を促していく。

地域代表: 今回は、第1回目なので、改善やサービス向上の評価などできないが、次回(3月)はこのような意見

などが話し合われると思うので、職員も大変でしょうが頑張りたい。

所長: 6月末に一般浴槽の改修工事をおこないました。もともと、24時間対応の循環装置の付いた浴槽を使用していました。循環装置が壊れ取替えなくてはならないということで、毎回湯船の張り替えを行っていましたが、旧式の大浴槽がゆえに、水道使用量が膨大なため、浴槽をかき上げし、不要スペースの埋め込み工事を行いました。その間入浴が困難な日もあり、利用者様・ご家族様にも大変ご迷惑をおかけしました。

全員の意見として、施設改修などで、施設の中が良くなっていくのは良いことであるから仕方ない。

施設では、検討を重ね良い方向へいっていると思うので、今後も良くなるようにお願いしたい。

最後に全員でお風呂などの設備等を見学し運営推進会議を終了する。

次回開催予定日	記録者	センター長
平成29年3月開催 (予定)		